

# 法蔵 331号 五月号

・5月12日(火)午後0時より 「定例法話会」

お話ししていただく布教使さんは、栗沢町常寶寺の日馬教生師です。  
三密を避ける工夫をして行いたいと思います。 「仏さまの教えを聞かせていただきましょう!!!」

・5月28日(木)午後1時より 「親鸞聖人御命日のお参り」

・6月12日(金)午後0時より 「定例法話会」 ※お話ししていただく布教使さんは、まだ決まっていません。

・6月15日(月)午後1時より 帰敬式事前学習会 ・6月16日(火)午前11時より 帰敬式

【いよいよ今年は帰敬式を行います。現在2名の方の申し込みがありました。受式希望の方はご連絡ください。お待ちいたしております。別紙を御参照ください。】

・6月20日(土)午後1時より・21日(日)午前10時より 「永代経法要」

※ 万一法要日程、内容に変更がある場合は、ハガキにてお知らせいたします。  
布教使さんは、東京都本昌寺から、元全日本仏教連盟広報部長 中村甲(かつし) 師にお越しいただく予定です。ハガキでの案内状の来ない方も是非ご焼香、仏法聴聞してくださいますようお願い申し上げます。21日はお斎(昼食)があります。カレーライスではありません。お斎の用意のお手伝いをしていただける方は朝8時にお寺の台所にお越しいただきますようお願い申し上げます。

○ 5月31日(日)午前11時より「順信寺札幌地区報恩講」を今年は東本願寺札幌別院現来寺支院で行う予定でしたが、狭い密室内で行うことなどを考慮し、新型コロナウイルス感染拡大防止ということから、誠に残念至極ではありますが、中止にせざるを得ないかなと思っております。このためにいただいた歌登の美味しい山菜を、札幌の御門徒さんに何とか味わってもらい、札幌地区報恩講開催の願いが伝わるよう工夫したいと思っております。

○ 4月12日の「定例法話会」は他のお寺の法話会が中止となり、予定しておりました杉本智海先生が来れなくなってしまったため、住職が一席お話させていただき、2時前に終了いたしました。又住職がお話に向う予定だったお寺の法座も全て中止となりました。新型コロナウイルス問題は大変です。

○ 新型コロナウイルス感染予防のため、密閉、密集、密接を避け、手洗いを徹底して注意して生活して参りたいと思います。お寺の行事も状況によりましては変更せざるを得なくなることもあると思います。御理解御協力をよろしくようお願い申し上げます。又、色々と注意し工夫してまいりたいと考えています。よろしく御指導お願い申し上げます。又、現在、宿泊施設が休業しているという状況もあり、お葬式等で親戚の方等が来られた折には、非常時のため、ご門徒さんに限らず、順信寺にお泊り頂くことも出来ると考えております。その際は、遠隔地からお越しの世帯ごとに部屋を分けるなどの、出来る限りの対応をさせていただきます。身近にお困りの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

「人生を結論とせず。人生の結論を求めず。

人生を往生浄土の縁として生きる。これを浄土真宗という。」(医学博士 田畑正久)  
～いつでも今は人生の旅の途中であるということだと思います。自分で自分の人生に結論を出してしまうという愚かなことはしたくないと思います。浄土の道を歩んでまいりたいものです。

「さりげなく重荷を担い。心安じて徒勞の盃を飲む」

(・徒勞～結果がでない無駄な苦勞。)

(臨床心理学者 霜山徳爾)

～このようにはなりません、何かほっとする言葉ですね。私の願いはどこにあるのかという問題でもあるのだと思います。

「ごめんなさい。ありがとう。そしてプリーズというこの三つの言葉がほんとうに素直に言えるか、言えないか。それが国際化ということのいちばん根本だ。」

(小説家、犬養毅の孫、犬養道子)

～この三つの言葉は愚痴と欲と怒りと反対の世界の言葉だと思います。正しく見ることができない愚痴の世界は自己主張を生み、欲の世界は恩という情を生みません、そして怒りは自分の思うようにならないという自己中心の心から起こるものだと思います。「ごめんなさい」。「ありがとう」。「プリーズ」。は言っているようでなかなか言っていないかもしれません。人間が出るのですね。新型コロナウイルス問題の中では特に注意しなければならないことなのかもしれません。

それにしてもやはり、エゴとコンプレックスというどんな人間の心の奥底にある、その問題が話を複雑にしているのかもしれないと思うのです。

・忠峰コーナー

「水補給 増えて暑さや 春の暮れ」

「窓越しに 向いの桜で 花見酒」

待望の「動画配信」を開始しました！(テスト中ですが…)

4月12日の定例法話会の様子をアップしています。  
順次、投稿していく予定です。ぜひご覧ください！

